

# 船舶技術研究所報告（第30巻 第3号）に掲載の論文等の紹介

## 研究報告の紹介

### 小型カーフェリーの模型試験 —199G.T.型カーフェリーと両頭型カーフェリー—

菅井 信夫、 高橋 孝仁  
塚田 吉昭、 上田 隆康

国内では瀬戸内海を中心として小型カーフェリーが多く航行していますが、この中で199G.T.型と称するものは航行水域の水深、甲板形状などの制約からプロペラ起振力や推進性能上の面から非常に不利な船型となっています。これらを解決する一つの方法として、本論文では2隻の2軸船尾スケグ船型模型を作り、一連の船型試験によって性能を調査しました。その結果、2軸船尾スケグ船型を199G.T.型に採用して、推進性能が改善されることを示しました。また、起振力の検討を理論計算によって行った結果、かなり改善されることを示しました。

両頭船の小型カーフェリーの建造に占める比率が大きくなっていますが、国内においてはこの種の船型試験結果の公開されたデータはあまり見ることが出来ません。そこで、670G.Tクラスの比較的大きな両頭船について性能試験を実施しました。試験は、前後のプロペラの有無の状態を組合せて行い、遊転している船首側プロペラの抵抗量、また航走波を減少させるための一つの試みとして船首尾に付加物を付け、航走波への影響などについて調査しました。